

# 那須烏山

— No.124 —

2016  
January

1

Public Relations Magazine  
of Nasukarasuyama City

第11回那須烏山マラソン大会……………	2
第6回市議会定例会……………	6
中学生13人が米国メノモニー市へ……………	8
まちの話題……………	14
インフォメーション……………	16
2015イルミネーションin那須烏山……………	18



お正月遊びを満喫中(12月17日、にこにこ保育園カルタとり)

第11回

# 那須烏山

合併10周年記念大会に1950人のランナー集う



会場には、たくさんの笑顔の輪が広がりました。



# マラソン大会

那須烏山市の誕生から毎年開催している「那須烏山マラソン大会」も11回目となりました。今年も合併10周年記念大会ということもあり、1950人もの大勢のランナーが集結。毎年、市民にとどまらず日本各地からマラソン愛好者が足を運ぶ、本市を代表する一大スポーツイベントとなっています。今月号では、大会の様子を紹介します。

## マラソン愛好者が 冬的那須烏山路を力走

12月6日(日)、保健福祉センターを発着点に、合併10周年を記念した第11回「那須烏山マラソン大会」が開催され、県内外から1950人のマラソン愛好者が集結しました。

この大会は、市、教育委員会、体育協会等による実行委員会(松本武委員長)が主催するもの。今年も、ウォーキングコースの一部を変更し、より八溝の景色を楽しめるコースとしました。

開会式では、松本実行委員長が、「本市には美しい景色がたくさんあるので、1日楽しんでほしい」とあいさつ。続いて、大谷範雄市長が、「山紫水明ともいえる本市を堪能しつつ、怪我のないように頑張ってください」とランナーを激励しました。その後、同大会の特徴でもある「はるばる来たで賞」の授与も行われ、北は青森県、南は京都府と遠方から訪れたラン

ナー18人に実行委員長から本市で収穫された米が手渡されました。

そして、最初のウォーキングを皮切りに、ハーフ、5キロ、3キロ、2キロ、親子コースの順に次々とスタートしました。スタート時には、「那須烏山市ふるさと太鼓保存会」による太鼓の演奏で走り出すランナーを威勢良く送り出しました。ランナーたちは、強風の中、沿道からの声援を受けながら懸命に那須烏山路を駆け抜け、ゴールを目指します。中には、キャラクターなどに扮したランナーも見られ、大会を盛り上げました。

一方、会場では、疲れを癒してもらおうと豚汁が無料で提供されました。これは、食生活改善推進団体協議会や興野農産物直売所の皆さんの協力により、毎年行われているものです。具材は全て地元産で約2000食が作られました。まごころこもった豚汁は、大好評。ランナーたちの満足気な笑みが会場いっぱい広がっていました。また、ボランティア団体「烏人」

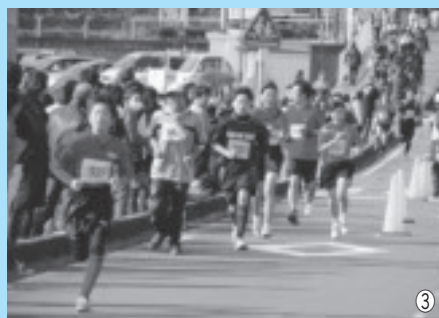


①

①笑顔で走り抜ける子どもランナー ②軽快に坂を登る5kmコースのスタート ③沿道でランナーに応援を送る大勢の人々 ④手をつないでゴールがお約束の親子マラソン。



④



③



②

により、市の特産である「国見のみかん」約2000個が配布されました。

また、本部テント前で行われた表彰式では、大会役員から、各種目の上位6人に表彰状や記念品が手渡されました。入賞を逃したランナーにも、ランダム抽選のおたのしみ賞が送られたほか、大会参加者全員には参加賞が配布されました。

ハーフマラソンで総合優勝した大串順史さん(福井県)は、「風が強く、好タイムが出せなかったが、家族に元気な姿を見せられたことが良かった」と話していました。また、ハーフマラソンに出場した佐藤順さん・陽子さん夫妻(埼玉県)は、「まだ紅葉が残る大自然の中で気持ちよく走れた。地元の人たちの応援も嬉しかった」と笑顔で話していました。

## 試行錯誤重ねた運営 県内有数の大会目指して

今から10年前の平成17年12月。合併後、初となるマラソン大会は、旧南那須町と旧

烏山町の「健康マラソン大会」を統合し、記念すべき第一回大会として開催されました。

旧大会から続いている70歳以上の参加者への「まだまだ元気で賞や、遠方から来た参加者には「はるばる来たで賞」「完走(歩賞)などの特別賞を設けたほか、これまでなかったハーフマラソンコース、ウォーキングコースを新設して行われました。

その後、アンケートの調査結果をもとに特別賞の変更やコースの年齢制限など、より良い運営のために内容が見直されました。第5回大会から「飛び賞」を新設し、第8回大会からは新たに「ハーフ一般男子60歳以上」コースを設けるなど、現在に至るまで試行錯誤を重ね、様々な工夫を凝らし運営してきました。

実行委員会では、今後も参加者の声などを積極的に取り入れ、県内有数の大会に成長することを目標に、マラソン愛好者や地域ボランティアとの連携により市ぐるみで大会を盛り上げていくこととされています。

## 部門別上位入賞者

※敬称略

### ■2kmコース

【5・6年生男子】①亀井大生(宇都宮市) ②小田戸葉春(那須烏山市) ③後藤功樹(さくら市)

【5・6年生女子】①豊福夢実(高根沢町) ②関野思衣(宇都宮市) ③安藤実衣菜(高根沢町)

【親子(幼児～2年生)】①杉山隆之・康生(那須塩原市) ②佐藤信弥・慶人(福島県) ③関根孝泰・佑樹(高根沢町)

【親子(3～4年生)】①若山博彰・晴紀(さくら市) ②疋田孝路・翔大(宇都宮市) ③丸山哲史・敬大(群馬県)

### ■3kmコース

【中学女子】①赤間陽菜(福島県) ②神部紫音(長野県) ③内藤未唯(那須烏山市)

【一般女子】①中島瑞季(真岡市) ②中村彩花(芳賀町) ③大根田夢(真岡市)

【男子全般】①鈴木裕野(那須烏山市) ②柳田尚皓(那須烏山市) ③堀江裕也(茨城県)

### ■5kmコース

【中学男子】①伊藤明輝(大田原市) ②佐藤優樹(宇都宮市) ③池尻竜太郎(那須烏山市)

【一般男子39歳以下】①石川佳樹(那須烏山市) ②原武司(長野県) ③鈴木浩史(群馬県)

【一般男子40歳以上】①大久保茂(益子町) ②佐々木淳(岩手県) ③河和健治(那珂川町)

【一般女子39歳以下】①館舞耶(福島県) ②溝上優(静岡県) ③蛭田結衣(さくら市)

【一般女子40歳以上】①仲江川久美子(栃木市) ②古橋留美(茨城県) ③小松原美貴(那須烏山市)

### ■ハーフマラソン

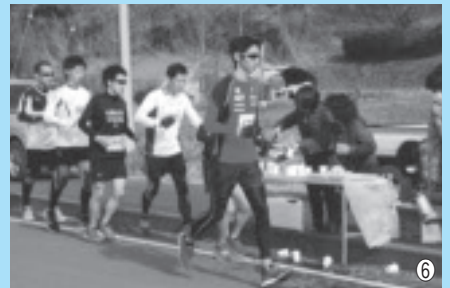
【一般女子18歳以上】①亀井ひさえ(宇都宮市) ②後閑文子(東京都) ③大崎妃可瑠(芳賀町)

【一般男子16～39歳】①大串顕史(福井県) ②福田英智(日光市) ③佐原尚樹(福島県)

【一般男子40～49歳】①立花則夫(愛知県) ②大久保幸夫(埼玉県) ③阿久津憲一(宇都宮市)

【一般男子50～59歳】①金井達夫(福島県) ②小林公則(茨城県) ③押見彰(宇都宮市)

【一般男子60歳以上】①小林修(茨城県) ②東爪完治(那須塩原市) ③鎌田雄二(大田原市)



⑤温かい豚汁を受け取る参加者 ⑥地元の人々の協力による給水所 ⑦ハーフコースの折り返し地点 ⑧大金つり橋を渡るランナー ⑨表彰式。

# 幼稚園・保育園で生活発表会

市内の幼稚園・保育園では、12月に入り、生活発表会が相次いで開かれ、大勢の保護者や地域住民が見守る中、この日のために練習をしてきた唄や踊り、劇を一生懸命に発表しました。今回は、その中から3つの園の様子を写真で紹介します。



④



③



①



⑤



②



⑥

①②七合保育園／③④にこにこ保育園／⑤⑥烏山聖マリア幼稚園。

## 国境を越えた交流 国際交流クリスマス会

市国際交流協会(東原民範会長)では、12月16日(木)、風月カントリー倶楽部で、今年で10回目となる「国際交流クリスマス会」を開き、外国人80人を含む125人が参加しました。

会場では、参加者がお互い自己紹介を行ったあと、食事をしながら交流を深めました。その後、烏山紙すき唄保存会による烏山紙すき唄と花笠音頭、矢崎部品(株)の職員によるインドネシア民俗舞踊が披露されました。

ほかにも、○×ゲームやビンゴゲーム大会をしたり、全員でクリスマスソングを歌ったりするなど、参加者は優雅で楽しいひと時を過ごしました。



様々な国の人々が交流したクリスマス会。

# クリスマス のわだい



真剣にツリーを制作する親子。

## クリスマスに向けて 親子でリース作りに挑戦

12月12日(土)、南那須図書館で「クリスマスリース作り」が開かれ、親子連れ10組25人がリース作りに挑戦しました。

参加者たちは職員からの説明を受けた後、リボンやモール、職員が事前に山で採集した「あけび」や「ふじ」のつる、「松ぼっくり」を使って、「クリスマスリース」と「松ぼっくりツリー」を作りました。

初めは苦戦する姿も見られましたが、慣れてくるとそれぞれの個性を出した作品を制作。子どもたちは完成した作品を手に満面の笑みを浮かべていました。



## 平成27年度は4会計を補正

# 一般会計総額は122億2万4千円に

平成27年第6回市議会12月定例議会が11月24日(火)から12月1日(火)までの8日間の日程で開かれ、平成27年度補正予算や条例の制定・一部改正など14議案を原案どおり可決。そのほか、市議会議長あてに提出された請願書1件が採択されました。

なお、詳しくは、議会事務局 ☎0287-8817114 までお問合せください。

## 4会計の予算を補正

### ○一般会計

平成27年度一般会計予算の歳入・歳出を、それぞれ2億879万7千円増額し、補正後予算総額を122億2万4千円としました。

主な内容は、放課後デイサービス利用者増加に伴う障害児通所給付費など障害者総合支援事業費の増額分223万5千円、こども医療助成費の増額分1000万円、生活保護扶助費の増額分3207万4千円、高齢者予防接種委託料の接種見込人数の増加に伴う費用677万9千円、農地集積・集約化対策事業費補助金対象件数の増加に伴う費用1582万4千円、滝田地区内のかんがい排水施設整備の事業費増加に伴う費用707万4千円、神長地区内の観光施設へ給水管を敷設するための費用195万2千円、JR烏山駅前の広

場にフェンスを設置するための工事費用840万円、烏山小学校の放送設備を改修するための費用355万9千円、烏山公民館屋根の雨漏りに対処するための工事費用1600万円、「平成27年9月関東・東北豪雨」による農地・農業用施設災害復旧事業費2172万8千円、公共土木災害復旧事業費330万円などです。

また、平成28年度から平成30年度までの「放課後児童健全育成事業運営業務委託」、「一般廃棄物収集運搬業務委託」、「英語コミュニケーション推進事業ALT業務委託」について、債務負担行為を設定しました。

### ○特別会計

国民健康保険の事業勘定は、職員人件費の増額、一般被保険者高額療養費や退職被保険者等療養給付費・高額療養費の増額、保険財政協同安定化事業拠出金の増額及び人間ドック健診補助



福祉の充実を図ります。

金の増額に伴い、歳入・歳出をそれぞれ9298万3千円増額し、4億5996万7千円としました。

簡易水道事業は、老朽化した配水管等の漏水に対応するための修繕に要する費用92万円を増額し、1億1052万7千円としました。

### ○企業会計

水道事業は、人件費の減額により、収益的支出を292万7千円減額し、5

## 固定資産税全期前納報奨金の廃止について

平成28年度課税分から、固定資産税の全期前納報奨金制度が廃止となります。報奨金制度は廃止しますが、これまでどおり納付書または口座振替による一括(全期)納付はできますので、引き続き早期納税にご協力をお願いします。

なお、口座振替ご利用者で、一括(全期)納付から各期納付に変更をする場合は、振替をする取扱金融機関窓口で平成28年2月末日までに通帳届出印を持参し手続きをお願いします。

■問合せ 税務課 ☎0287-83-1114

億4754万8千円としました。

## 条例の制定と一部改正

・マイナンバー法の施行に伴い、社会保障・税・災害対策の分野等において、市が独自に行う事務について、個人番号を含む個人情報を利用できる事務を定めること。また、これらの情報を市役所内で連携して利用できるようにするため、新たに、「市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」を制定しました。

・スクールバス及び幼稚園通園バスの運転業務に携わる嘱託職員の賃金を新たに定めるため、「市嘱託職員及び臨時の任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例」を一部改正しました。

・消防団における重要事項を調査審議する市長の附属機関として設置してい



笑顔であふれるまちづくりのために。

る消防委員会の構成メンバーを見直しを図り、「議会の議員」を南那須地区広域行政事務組合消防本部の「消防長に改正する等」、「市消防委員会設置及び運営条例」の一部を改正しました。また、これに伴い、市長が諮問するその他の附属機関についても、併せて組織の見直しを図るため、「市消防賞じゅつ金等審査委員会設置及び運営条例」、「市住居表示審議会設置及び運営条例」、「市環境審議会設置及び運営条例」についても一部を改正しました。

・地方税法等の一部を改正する法律の施行及び固定資産税の全期前納報奨金の廃止に伴い、「市税条例等」を一部改正しました。

・国民健康保険税の減免の申請期限を「納期限前7日まで」から「納期限日まで」に見直すため、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

・県市町村振興協会の被災者再建支援基金により、被災者が支援を受けることとなった場合において、当該受給者を本市の災害見舞金の支給対象から除く規定を追加することに伴い、「市災害見舞金等支給条例」を一部改正しました。

・新市武道館の建設に向けて開発許可等の協議を円滑に進めるため、「市運動施設整備、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

## その他

・南那須地区広域行政事務組合総合健

康管理センターの設置及び管理運営は、これまで南那須地区広域行政事務組合の共同処理事務として執行してきましたが、平成28年4月1日から本市へ建物を無償譲渡し、移管することとなったため、「南那須地区広域行政事務組合規約」の一部変更について議決しました。また、これに伴い、「南那須地区広域行政事務組合規約の変更に伴う財産処分について」を議決しました。

・「平成27年9月関東・東北豪雨」により、被害を受けた農地・農業用施設の災害復旧について市事業として施行するため、土地改良法の規定に基づき、「平成27年度農地・農業用施設災害普及事業の施行」について議決しました。

## 平成27年度『第3四半期』10月～12月 那須烏山市教育委員会会報

■第11回教育委員会(10月23日)

○平成28年度小・中学校職員定期異動方針(案)を決定

○全国学力・学習状況調査の取扱いを決定

■第12回教育委員会(11月20日)

○区域外就学の許可を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○那須烏山市運動施設設置、管理及び使用料条例の一部改正を決定

○平成27年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

■教育委員会臨時会(11月30日)

○那須烏山市教育委員会教育長職務代理者の指名

・教育長職務代理者に澤村豊純氏を指名

■第14回教育委員会(12月25日)

○区域外就学の許可を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○那須烏山市武道館建設に係る経過を承認

▼10月10日(土) 南那須中学校、烏山中学校文化祭、学校祭出席

▼10月25日(月) サタデースクール開校式出席

▼10月31日(日) 荒川小学校運動会

▼11月30日(月) 教育委員辞令交付式

▼12月6日(日) 那須烏山マラソン大会出席

中学生13人が米国メノモニー市へ

# 10日間のホームステイ体験

市の中学生海外派遣事業が、9月27日(日)から10月5日(日)までの10日間の日程で行われ、市内外3中学校から13人の生徒が、姉妹都市のアメリカ合衆国メノモニー市を訪れました。

これは、国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うとともに、これからの社会を担う人材を育成しようとして平成6年に旧南那須町が始めたもので、合併した現在でも続いている事業です。

今年は、2年生13人のほか、事務

局職員2人が随行。ホームステイや学校生活を通して、アメリカの文化や教育、家庭生活などを体験しました。

帰国後、生徒は現地での活動の様子や感想などを書きました。その中から、生徒たちが異国の地で感じた驚きと感動を一部抜粋して紹介します。

また、市では、これらの感想をまとめた英訳付きの英字新聞「MEMONOMONIE POST」の編集を進めており、参加した学校や派遣先のメノモニー市に送る予定です。

## 10日間の思い

● 9月27日(日)

成田空港から空路、ミネアポリスへ出発。空港からバスでメノモニー市へ。

● 28日(月)

バックマン農場、キャデー・ウッドラン生家、ローラ家など市内を見学。その後、ホームステイ先へ。

● 29日(火)・30日(水)

メノモニー市の中学校を訪問、授業に参加。

● 10月1日(木)

小学校を訪問し、日本文化の紹介・交流。

● 2日(金)

中学校で授業に参加。

● 3日(土)

ホームステイ先の家族と自由行動の後、返礼パーティー。

● 4日(日)・5日(月)

メノモニー市を後にバスでミネアポリスへ。ミネアポリス空港から空路、成田へ。日付変更線を通り、帰国は翌日夕刻。夜半に帰市。



メノモニー市は、アメリカ合衆国の北部に位置するウィスコンシン州の西部の都市で、ミネソタ州のミネアポリスとセントポールから東へ60マイルにあり、歴史と文化、そして教育のまちとして名高い。



ローラの前で。





お世話になったホストファミリーと。



小学校での交流。



中学校で授業を受ける生徒たち。

■南那須中 塩田太一…中学校の授業で特に印象深かったのは、「エゴ」や「人間の癖」などのテーマで社会の授業が進められていた事です。哲学的、能動的な授業が多くとても面白かったです。小学校への訪問では、紙芝居と折り紙をしました。下手な英語で、理解してもらえたかは疑問ですが、折り紙は皆喜んで参加してくれました。アメリカでは授業を受けたり、部活動の見学をしたりして日常生活を短い期間ですが体験できました。

■南那須中 中山楓窓…アメリカの空港に着いたとき、周りには外国人ばかりで、本当にアメリカに来たんだなと思いました。バスに乗って、モーターに行く途中に、広々とした土地と、日本と逆向きの道路に驚きました。3日目からは、色々な人と仲良く接することができました。海外派遣は私にとって、良い勉強になりました。英語にも自信がつきました。これを生かして、これからも頑張っていきたいです。

■南那須中 深澤心美…学校は日本の学校よりも大きかったです。休み時間は、3分でも短く大変でした。体育ではサッカーやラグビーをしました。校庭が広いので、のびのびとできました。学校に行くと嬉しかったことは、日本語で「おはよう」「こんにちは」とあいさつしてくれたことです。アメリカ人はきさくに話しかけられてすぐに仲良くなれました。機会があったら、またアメリカへいきたいです。

■南那須中 荒井来夢…私が一番思い出に残った事は、ホストファミリーと過ごした時間です。お父さんと一緒に

バスケットしたり、バギーに乗せてくれたりしました。お母さんは毎日手作りの食事を作ってくれました。家に馬が来た事も驚きました。アメフトの観戦もしてきました。生で初めて見るアメフトはとても迫力がありました。毎日がとても楽しかったです。この経験は貴重でここで作った思い出は私の大切な宝物となりました。

■南那須中 高田虎太郎…日本の学校と違ってとにかく自由なところに驚きました。お菓子や携帯電話を学校へ持って行っているのです。制服もないので、服装も自由でした。しかし、授業内容は充実しており、授業の教材としてコンピューターを多用していたのが印象に残っています。先生と生徒の距離が近く、生徒が積極的に手を挙げて意見を発表していました。そんな慣れない学校でも、ホストファミリーのパトリックが側でサポートしてくれ、楽しむことができました。

■南那須中 大久保舞織…ホストファミリーに会うまで、英語を聞き取れるかとても心配でしたが、イシーをはじめ家族が私たちにあっという間の英語で話してくれたので楽しく会話ができました。ピアノを弾いたり、絵を描いたり、様々なことをしました。家族と団欒(だんらん)できて楽しかったです。ホストファミリーとの別れは、悲しくて思わず泣いてしまいました。共に過ごした日々は本当にあっという間でした。良い体験ができて良かったです。

■南那須中 谷口瑚波…ホストファミリーの家族は本当に優しく、私は毎日とても楽しかったです。オリビアとシ

アナとトランポリンや、バスケットをして遊んだり、買物に連れて行ってもらったりと、他にもアメリカでしかできない貴重な体験ができました。最後まで優しく接してくれたホストファミリーの家族に感謝の気持ちを伝えたいです。アメリカでの貴重な体験、楽しかった思い出を、私はずっと忘れません。

■鳥山中 内藤舞子…アメリカでの移動中ではとても大きな川やトウモロコシ畑などが目につきました。学校では、英語がはやくて戸惑いましたが、分かりやすいようにゆっくり話したり、ジェスチャーを交えたりしながら会話をすることで、とても楽に打ち解けました。アメリカでのたくさんの思い出は、忘れられない思い出です。そして、またアメリカに行きたいと思いました。

■鳥山中 新井葉名…ホームステイ先のアリヤニックのサポートのおかげで不安な気持ちが自然となくなり、アメリカの友達にも話しかけられるようになりました。彼らと「コミュニケーションをとることで、人と関わるすばらしさ」を学び、英語に対する関心・意欲がさらにわきました。帰国後、英語のリスニングを聞くときも何を説明しているのか、前より理解できるようになりました。この経験を今後の生活に活かしていきたいです。

■鳥山中 高橋彩希…最初外国人である私たちのことをみんながどう思うのかわからなかった。しかし、授業では、私が得意なピアノを披露すると、「すごいねー」と拍手してくれたり、チェロやピアノの弾き方を教えてくれたり、みんな親切な人ばかりでした。また、日本に興味を持ってくれて、数字の数え方やあいさつについて聞かれ

たり、日本語で手紙を書いてくれたりしました。学校の友達やホストファミリーとの別れは、寂しかったけど感謝の気持ちでいっぱいでした。

■鳥山中 荒井至恩…不安そうなのにジョーダンとモーガンはゆっくりと繰り返しながら話しかけてくれ、僕も一生懸命英語で話をしようとして頑張りました。英語を話すということは楽しい事だと知りました。休日には、アメリカンフットボールの試合に行ったり、サッカーやバスケットをして遊んだりしました。学校では、たくさんの友達ができ、廊下ですれ違うたびに話しかけてくれて、嬉しかったです。

■鳥山中 山本耀都…ミネアポリス空港に着いたとき、英語での会話があまくできず、英語で話しているかとても心配でした。しかし、ホストファミリーのみんなが聞き取れるようにゆっくりと話してくれたので、よく理解できたり、自分の考えも伝えることができました。僕にとってモノモノで過ごしたこの様々な体験は、忘れられない思い出になりました。そして、またいつかタッドとママ、ジョーダンとモーガンに会いにモノモノを訪ねたいです。

■泉が丘中 渡邊公介…アメリカの食事は、朝、昼、夜などに関係なくポリュームがありました。日本とは違いスーパーマーケットに行っても一つ一つの物が大きかったです。アメリカは作るものや買うものの量がとても多かったです。一方日本では、伝統的な食べ物が多く食べられています。日本とアメリカで似ている所は地域によってさまざま食べ物食べられている事、洋食と和食の違いを知る事ができて勉強になりました。